

保戸伝説 名人便り No.21

前略、4月14日、16日2度にわたり熊本県・大分県地方震災に見舞われました。私も、4月は、岡山県6日間・石川県4日間と出張続きで、なかなか保戸伝説へ釣りに出向く時間限られました。地震の影響、様々な所で起こりはじめ、当社にとっても甚大な被害となりました。

1. 4月26日～28日「伝心伝承」(松田稔名人ロケ)延期となりました。
2. 姫路・岡山・石川県、釣り客50名以上(連休期間中)キャンセル続きました。実際には、大分県内、怪我人一人も出ておりません。あまりにも、過大報道過ぎると苦慮している次第です。保戸島漁師さんへ出張先より電話を入れ「地震如何ですか？」と尋ねた所、「海の上だから揺れる事は当たり前」地震に関しては、殆ど気にしていませんでした。実際私も、4月20日・4月26日2日間釣行致しましたが、保戸島風景はいつもと変わらぬ様子でした。その折、釣り上げた石鯛・大型イサキ・クチブトグレの写真同送させていただきます。

さて、2日間釣行した模様、お話させていただきます。

私からの感想です。今の保戸島の海水温、14℃、魚の喰いは

渋っているものの、棚の取り方、釣り方がしっかりしていれば、大きな釣果へ結びつきます。今回、釣行に際し、松田名人お呼びする為の試し釣り行いました。

仕掛けは、二通りあります。

①中層を釣る竿と仕掛け「近藤スペシャル」竿先 4mm、長さ 2.9メートル、3本つなぎ、リール「フジ太鼓リール 30」、道糸ハリス通し、「グランドマックス F X 4号」。この仕掛けで、釣り上げた魚、クチブトグレ 3.3 kg、55 cmオーバー。大型イサキ体長 55 cm、2 kg。このクラスの魚釣り上げる限界だと感じました。大型桜鯛 6.5 kgも、この仕掛けで釣り上げました。エサは青ケブ・本虫・活モエビが最適です。

棚、「フジタイコリール 30」で、65回（1回転 28 cm）かけて頂くと正確な棚が計算できます。この日の当たりが出たのは、18.2mでした。もっと厳密にお話すると、潮の流れがあるので、実際には1~2mは浮き上がっているはずです。水温上昇するに従い、魚の棚浅くなります。夏場に入ると約10m位浮き上がります。4月20日水温 14℃だと、クチブトグレの棚 18.2mです。大型イサキは、それより1~2m深い棚を回遊しています。私の場合、完全フカセ釣り、殆ど鉛は打ちません。しかし、この日は底潮の流れ早い事もあり、ゴム鉛 0.3号~0.5号。針上 5 cmに1個のみ打ちました。大型イサキ、

約 5 時間で、11 尾釣り上げました。殆どが、体長 40 cm (1 kg) を超す大物ばかりです。通常イサキは、群れで当ります。しかし、私であっても 30 分間に、1 尾程度のポツリポツリの状況でした。クチブトグレ全部で 7 匹釣り上げました。形は揃いで、1.5 kg 以上です。3 月までは、水深 5~6m 迄浮きあがってきたクチブトグレ、4 月に入り水深約 20m 迄下がっていました。しかし、当たれば大型揃いで、魚とのやり取り、楽しみました。その時の模様、近々 U チューブ (「保戸伝説」ホームページから検索頂けます) に掲載致します。興味のある方、お楽しみに願います。

4 月 26 日 6.5 kg 大型真鯛格闘シーン、U チューブに掲載するので、お楽しみ頂けると存じます。この日は、乗船の際、約 30 年ぶり滑って右手首負傷してしまいました。大型真鯛とのやり取り、大変苦勞致しました。手首を痛めながら必死に釣り上げた雌桜鯛、とても綺麗でした。ゴム鉛 0.3 号にて水深 18.2m の棚探る場合、落ちるのに約 30 秒かかります。場合によっては途中で大型ウマハゲ、エサ取りとなります。場合によっては落ちきる迄に餌を取られてしまう事もあるので、えさを取られだした場合、棚を浅くする事、必ず行った方が良いでしょう。

同送した写真ご覧頂くとイサキ、グレ、石鯛の大きさお分

かり頂けるはずです。

②保戸島専用大型石鯛、胴付仕掛け

竿、「近藤名人スペシャル」竿先 5mm 使用、長さ 2.75 メートル、リール「ダイワタナセンサー300」、道糸「松田名人スペシャル 8 号」(200m) ハリス「グラントマックス 8 号」、針 3 種類、上針「ふかせマダイ 14 号」(ハリス 30 cm)、中針「ふかせマダイ 12 号」(ハリス 25 cm)、下針「金マダイ 15 号」(ハリス 40 cm)・鉛「胴付仕掛け 20 号～25 号」、私の場合、針の大きさ 3 種類、ハリスの長さ、3 種類使い分けます。幹糸 2.5m に針 3 本結び、上下に「スーパースイベル」、又は「より戻し」使用します。

○石鯛釣りの場合

鉛の位置が下針の長さと同じに、仕掛け作りをする事が重要です。これは、あくまでも保戸島に限って言える事。又、底釣りを行う場合に限りです。石鯛宙釣り、底より 2m から 3.5m 上を釣る場合は、下針は、鉛より 5 cm 上に来る様に結びます。この石鯛仕掛けは、20 年以上保戸島に通い続けた結果、私があみ出した物です。ハリス 10 号にすると、石鯛の喰い、途端に悪くなります。針の大きさ、軸の太さハリス 8 号で 5 kg クラスの石鯛まで狙えます。但し、合わせを入れる際、確実に石鯛のじご、打ち抜く程の合わせを入れなくて

はなりません。保戸島石鯛、どう猛で3本針すべてのエサ無くなる迄、何度でも勝負できます。石鯛の釣れる時間、潮どまり前後約1時間、石鯛良く当たる瞬間、潮代わりです。例えば、右流れしていた潮、突然左や手前に入る場合があります。必ずと言って良いほど、潮代わり直前にあたります。

この他にも夕暮れ時、日が落ちて暗くなる迄、日の出の瞬間が大型石鯛狙える時間帯です。エサは、青ケブ（大大）又は本虫、私は2匹以上針にかけます。このエサの付け方も、Uチューブで流す予定です。同送した写真、石鯛2kg以上立て続けに7匹釣り上げました。この日、約5時間で釣った魚、やはりUチューブに掲載する予定です。

去年は、4月～6月まで、大型真鯛5kg以上10kgクラス迄3ヶ月間で、保戸伝説港内にて700枚以上釣れていました。今年も、大型真鯛の数少なく、代わりに大型石鯛の群れ、多数入っている様です。石鯛狙う際、7号以下のハリス使わない方が良いです。今の石鯛、沖より入っているの、地つきの石鯛とは異なり、大変引きが強いです。私の予測ですが、間もなく石鯛の乗っ込みが始まります。その場合、一人が10匹以上の大型石鯛釣り上げても何の不思議もありません。石鯛のっこみ期に入った場合、雌の石鯛はなるべく放流して頂けると、石鯛の数減る事はありません。私も、石鯛の雌や、25

cm以下の小型の魚は放流すること、心掛けています。大型石鯛のエサ、必要の場合、保戸伝説事務所に「サザエも必要」とお訊ね願います。このサザエを半分に切り、2分の1ずつ使用する事で、大型石鯛狙えます。(お一人様7個2000円で販売致します。もちろん食用お土産として、お持ち帰り頂けます。保戸島サザエ解禁5月1日です。4月中は。無垢島で獲れたサザエですので、少し小ぶりです。)

石鯛の季節8月いっぱい狙えます。この他にも、カサゴ・メバル産卵期なので、喰い活発です。大型スズキ、ヒラスズキは「近藤スペシャルダンゴ」ピンポン玉位で狙うと、スズキ大型良く当たります。(朝・夕・潮どまり)これから大型連休に向け、魚の喰い活発となります。

水温15℃以上になると、一気に高まります。

お友達お誘い合せの上、保戸伝説にご一報ください。

受付の際「名人便りNo.21、読んだ！」と言って頂ければ、天然桜鯛又は、天然イサキ1尾、名人よりプレゼントさせて頂きます。(プレゼント期間 5月1日～5月20日迄)

平成28年4月28日

(株)保戸伝説
代表 近藤芳弘